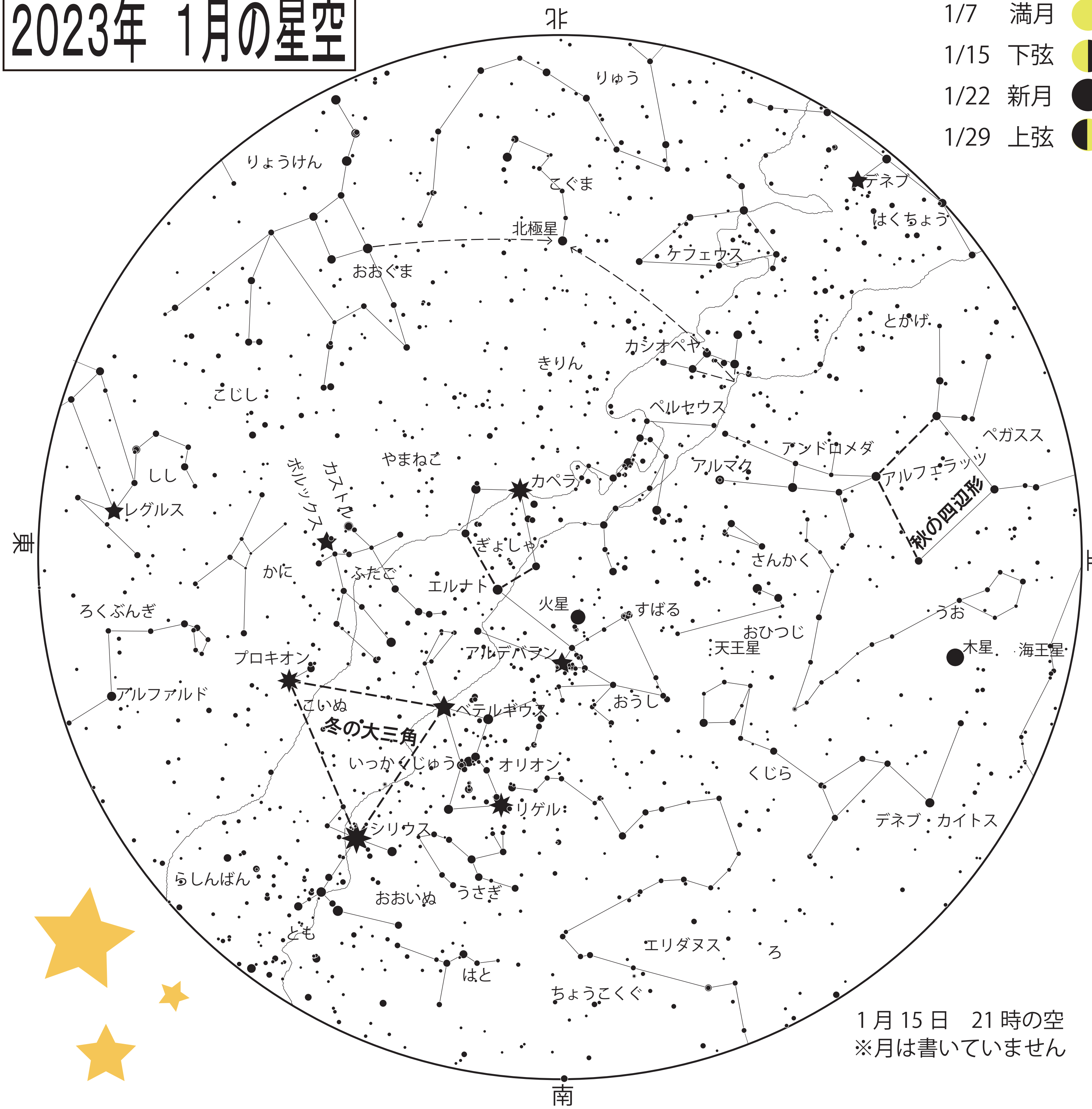
姫路で見る 2023年 1月の星空

図の中心が頭の真上(天頂)、まわりの円が地平線です。
この星図は見ている方向の方位を下にしてください。

姫路科学館
Himeji City Science Museum

1/7　満月
1/15　下弦
1/22　新月
1/29　上弦



色とりどりの冬の星々が新年の夜空をにぎやかに飾っています。まず見つけやすい星座といえば、南の空で結んだリボンのような形をしている**オリオン座**です。オリオン座には2つの一等星があります。オレンジ色の方が**ベテルギウス**で、青白い方は**リゲル**です。オリオンの腰もとにある三ツ星をたどって東側を見てみると、**おおいぬ座**の**シリウス**が見つかります。そのお隣で目立つのは**こいぬ座**の**プロキオン**。ベテルギウス、シリウス、プロキオンをつなぐと**「冬の大三角」**となります。オリオンからさらに空を見上げたところにあるのは、お誕生日の星座の**おうし座**です。おうしの目で赤く輝くのは**アルデバラン**、そして肩のあたりでほんのり青白く見えるのは星の集まり**「すばる」**です。実は、オリオンの足元には2023年の干支・**うさぎ**の星座もひっそり佇んでいるんですよ。

空の高いところ、おうし座のあたりには地球のお隣の惑星・**火星**が滞在中です。木星はだいぶ西の空へと傾いてきました。夕暮れ時には土星や金星の姿も見えます。